



てみませんか？

あなたの心臓



心臓ドックのお知らせ

循環器の専門医が診断します。



冠動脈 CT の陰性適中率は 98%

「陰性適中率が高い」とは、検査結果が「ない」と判定されたとき、本当に「ない」確率が高いということです。冠動脈 CT の陰性適中率は 98% ととても高く、冠動脈 CT で狭窄が認められなかった場合は、ほぼ冠動脈狭窄は否定されます。もし狭窄が認められたとしてもご安心ください。東宝塚さとう病院は全国でもトップクラスの治療実績を誇り、多くの循環器専門医が在籍しています。

「機能」の検査はエコーにお任せ

心臓には 4 つの弁があり、これらの弁がうまく機能しない病気を「弁膜症」と呼んでいます。弁膜症の診断には血液の流れる速度や方向が重要な情報となりますが、エコー検査はこれらを得意とします。また動画で観察することができるため、心臓の筋肉の動きを観察でき、心臓の血液を送り出すポンプとしての「機能」を評価することができます。心臓の検査に欠かすことのできない存在です。

気づかない不整脈もあります

普通の心電図では記録時間が短いため、たまにしか現れない不整脈を発見することはできません。ホルター心電図は携帯可能な小型の心電計を装着し長時間記録することで、不整脈や心電図異常などの変化がいつ、どれだけ、どのぐらいの時間起きているかを把握し、不整脈の種類やその重症度などを調べます。すべての不整脈に治療が必要な訳ではありませんが、治療が必要な場合は東宝塚さとう病院の不整脈専門医にお任せください。

心臓ドックのご案内

冠動脈・弁・不整脈のチェックに ¥66,000 (税込)

冠動脈 CT で冠動脈狭窄を、エコーで心臓の弁をはじめとする心機能を、ホルター心電図で不整脈を診断します。また心疾患の原因となりうるメタボリックシンドロームの診断に役立つ項目を取り入れ、心臓をチェックします。また日頃の食生活も重要ですから、管理栄養士による栄養指導も行います。もしも異常が見られてもご安心ください。東宝塚さとう病院は冠動脈・不整脈・心臓の弁のそれぞれの治療経験豊富な医師が在籍しておりますので、適切な医師をご紹介しスタッフ一同で治療に当たります。

主な検査項目

- 血液検査 : 肝・腎・甲状腺機能, 糖, 代謝脂質, 電解質, 肝炎ウイルス, HbA1c, NTproBNP など
- 超音波 : 心臓
- CT : 造影冠動脈 CT, 冠動脈石灰化, 内臓脂肪量 (造影冠動脈 CT は薬剤を用いるため体質によってはお受けいただけません)
- 生理検査 : 安静時心電図, ホルター心電図 (6 時間)
- その他 : 胸部レントゲン, 身長, 体重, BMI, 血圧, 腹囲, 栄養指導